

令和6年度 浜松市国語科研究部2ブロック(3、4部会)

第3回研修会報告

1 日時 10月30日(水) 14:00~16:30

2 場所 浜松市立可美中学校

3 内容

(1) 公開授業

いにしへの心を受け継ぐ「君待つと」

～和歌を読み味わい、情景作文を書くことで和歌の世界に親しむ～

本単元では、歴史的背景や作者の置かれた状況等を踏まえ、言葉の一語一語に着目し、多様な角度から和歌を読むことで、普遍的な人間の感性や意識があるということに気付かせ、和歌の世界に親しませることをねらいとしている。

前時までに選んだ和歌について、歴史的背景や作者の状況、一語一語の語句に着目しながら、歌に読み込まれた心情や情景を想像し、ワークシートにまとめた。本時では、そのワークシートを基に、同じ和歌を選んだ者同士で意見交換をする。同じ和歌でもさまざまな読み取り方や解釈ができるということを実感させる。

(2) 事後研修

ア グループワーク「国語科研究部の研究視点に沿った授業分析」

参観した授業の中で、「学びの調整」がどのように機能していたかについて、協議を行った。

イ グループ協議の共有

① (中学校)

- ・人の意見を取り入れる前と後の変化をどう見取っていくのか。意見を取り入れ、修正する。このタイミングが「調整」になるのではないか。
- ・オクリンクを使用しているので、名前をふせて他クラスの意見も見ることができる。もっと幅の広い意見を取り入れることができる。

② (小学校3年生)

- ・教師が積極的に机間指導に入っており、個への支援は適格だった。
- ・その一方で、本時の授業ではグループでの話し合い活動とオクリンクを活用して、自分の情景作文をもう一度書くという作業だった。全体場で、もっと生徒の意見を拾いあげていたら、もっと柔軟な思考が生まれていたかもしれない。
- ・目標が「親しむ」なので、今回の活動をどう評価していくのか、とても難しい。次の時間からの作文の変容や、話し合った結果の情景作文を見たい。
- ・先生が準備していた手立てが、生徒の活動にとっても有効に働いていた。見通しが持て、本時への取り組みが抜群によかった。

